芸 術

「音楽Ⅰ」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年 1～4組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 音楽の基礎を学び、歌うことの喜び、合唱することの楽しさを味わいます。 2 アルトリコーダーの基礎を学び、楽器を用いて表現する能力を養います。 3 音楽鑑賞ノートを使用し、名曲について深く調べるとともに鑑賞する態度を身に付けます。
使用教科書・副教材等	「新高校生の音楽Ⅰ」(音楽之友社)「ミステリートレイン」(トヤマ出版社)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活等との関連など)
第 1 学 期	授業ガイダンス 歌唱 愛唱歌 教材 「瞳を閉じて」 「春の日の華と輝く」 「校歌」	4	音楽Ⅰの学習内容、評価方法、授業の受け方を理解します。 中学校時代に良く歌った曲を歌うことにより、声を出すことの喜び、歌うことの楽しさを身につけます。	歌唱・器楽・鑑賞の授業活動を並行して進めていきます。
	器楽 リコーダー (アルトリコーダーを利用します) 教材 テキスト No 1 鑑賞Ⅰ 教材 (CD) アントニオ・ウィッパ 「レクイエム」	5	・二部合唱・混声四部合唱を学び、協調性をも養います。 ・本校の素晴らしい校歌を学び、二部合唱にて歌えるようにします。	期末実技テスト (暗譜)
		6	基本演奏の学習 楽器の扱い方、演奏姿勢、呼吸法、指つかい、タンギング等、基本演奏を学びます。 主にタンギング・スケール・カテンツを学びます。	中間実技テスト (スケール)
		7	レクイエムについて調べ、鑑賞ノートを作成し、鑑賞し、感じたことをノートにまとめます。作曲家がどういう気持ちでその曲を作成したか考えます。	ノート提出
【課題・提出物等】 鑑賞ノートを3回提出します。各授業で実施した鑑賞教材・歌唱教材についてのまとめ、感想を見ます。				
【第1学期の評価方法】 1 歌唱実技テスト、リコーダー実技テスト、音楽環境ノートの提出と内容、及び授業への取り組みや出欠席にて評価します。 2 学期末評価は歌唱実技テスト、リコーダー実技テストが60%、ノートが30%、授業の取り組み、出欠席が10%の配分で評価します。				

第 2 学 期	歌唱 「Yesterday」の歌詞について実査に訳して鑑賞する。 教材 「Tonight」 ビデオ鑑賞	9	「Yesterday」を実際に訳して、作詞者の気持ちがどのように変化したか、読み取ります。また、ビートルズの美しいメロディがどのようにカバーされているか鑑賞します。	期末実技テスト (暗譜)
		10	ミュージカル映画『WestSide Story』を鑑賞し、なぜ若者が事件を犯すようになったかを考えます。	ペーパーテスト
	器楽 教材	11	アルトリコーダーを使用し、音感を養い、実技に習熟する。	実技テスト

学 期	「夜行列車」「オ バサンバー」		
	イタリア歌曲 「Caro mio ben」	12	イタリア語による18世紀の名曲を歌い味わう。 実技テスト（暗譜）
【課題・提出物等】 ビデオ鑑賞『West Side Story』は、あらすじと内容のペーパーテストをします。各授業時間に考えた事をノートに書いて提出します。			
【第2学期の評価方法】 1 歌唱実技テスト、リコーダー実技テスト、ノートの提出と内容、授業への取り組みや出欠席について評価します。 2 学期末評価は歌唱実技テスト、リコーダー実技テスト及びプリントが60%、音楽鑑賞ノートが30%、授業への取り組み、出欠席が10%の配分で評価します。			

第 3 学 期	歌唱 日本の歌 教材 浜辺の歌 器楽 教材 ブレイクダウンマ ーチ 課題曲A 課題曲B 鑑賞Ⅲ 「お正月の歌」	1	日本歌曲を歌います。なめらかに歌う事は、難しい。上手に呼吸をすることでたっぷりとうたえるようにします。	実技テスト
		2	アルトリコーダーを使用し、2学期よりさらに難易度の高い曲に挑みます。実技テストを受験します。	期末実技テスト（暗譜）
		3	ポピュラー音楽で活躍しているシンガーソングライターが実際に作詞・作曲をするところを見て、基礎基本が大切なことを学ぶ。	ノート提出
【課題・提出物等】 ノートを提出します。自分の考えでしっかりといろいろなことに気がつくという視点で感想文は評価します。				
【第3学期の評価方法】 1 リコーダー実技テスト、音楽鑑賞ノートの提出と内容、授業への取り組みや出欠席にて評価します。 2 学期末評価は、歌唱テストが50%、リコーダー40%、音楽鑑賞ノートが20%、授業の取り組み、出欠席が10%の配分で評価します。				

【年間の学習状況の評価方法】 下記の4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績、第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。
--

確かな学力を身に付ける為のアドバイス	芸術科目は実技です。練習しなければ出来ません。またテストにも合格しません。学習が進むにつれて、難易度が高くなっていきますが、あきらめずに努力すれば必ず、良い演奏ができると思います。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・まずは欠席しないことです。また教材・用具の準備も始業前においてください。授業には集中し、また人の演奏にもよく耳を傾けてください。 ・提出物は、期限を厳守してください。欠席等で課題提出が遅れた場合には、すみやかに申し出て、提出することを心がけてください。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 関心をもって授業に臨み、意欲的に学習活動に取り組んでいるか。 意欲的に楽曲演奏に取り組むとともに、鑑賞教材の視聴等における集中力の維持、ア 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏活動の参加の仕方や、態度 プリント・ノートの提出状況 教材・用具の準備および管理

	アンサンブル授業におけるルームメイトとの協調性等の観点において的確に行動できているか。	
芸術的な感性や表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲・音楽ジャンルの特質を良く理解した上で、その曲想や美しさを感じ取って、表現できるかどうか。 ・ 演奏上、難しい箇所に出会った場合にいかにその課題を克服できるかどうか。 ・ クラシック名曲の音楽性を感じ取れるかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テストの内容 ・ プリントの内容 ・ ノートの内容
創造的な表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する技能を身に付けているか。 ・ 楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技法を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技テストの内容
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解し聴き取っているか。 ・ アンサンブルにおいて、多様なパートが相互に関連しあい、音楽を作っていることを理解し、また聴き取れるかどうか。 ・ 音楽の文化的背景を理解しあい楽曲を聴き取っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノート ・ 実技テストの内容

(3) 担当者からのメッセージ

・ 誰にも得手・不得手があります。しかしその中においても、十分に能力が発揮できる課題があるはずで
 す。最初から『難しい』とあきらめず、少しずつ努力してやっていけば必ずと言って良いほどに、満足
 できるレベルまで到達できると信じています。要は『やる気』です。『やる気』さえあれば何とかなるもの
 なのです。